

陳 情 文 書 表

受理番号	30第19号	受理年月日	平成30年11月14日
陳 情 者			
件 名	消費税の10%増税を中止することを国に求める意見書採択に関する陳情		
<p><b>【陳情の趣旨】</b></p> <p>住民の暮らし向上のため、日々ご尽力されておられることに、心から敬意を表します。</p> <p>政府は2019年10月の消費税10%増税を「予定通りすすめる」とし、税務署ごとに説明会などを実施しています。しかし、2014年の税率8%への増税後、国内総生産（GDP）は落ち込み、個人消費や実質賃金の減少が続いています。しかも、消費税は社会保障等に充てられることになっていますが、医療・介護・年金・生活保護など社会保障制度は国民負担が増加し、給付の改悪が行われるなど、良くなるどころか負担が増すばかりです。</p> <p>また、税率10%と同時に、「複数（軽減）税率」が導入されることになっていますが、「軽減」といいつつ、食料品や新聞などを8%に据え置くだけで、実際には国民や中小企業、小規模事業者の負担は増加するとともに、「外食を除く食料品」の定義が不明確なため制度が複雑になることから煩雑さ、不公平感はむしろ増大し、混乱することは目に見えています。</p> <p>そもそも消費税は、低所得者ほど負担率が重くなる「逆進性」の強い制度であり、不公平な大衆課税です。生活費非課税、応能負担というあるべき税制の原則からして、「消費税廃止」を検討することも必要であると考えられますが、少なくとも国民負担をこれ以上増加させない、目黒区内の多くの中小企業や小規模事業者の経営を守り地域経済を衰退させないという二つの観点から、消費税10%への増税は中止すべきと考えます。</p> <p>つきましては、貴議会において国に向けた意見書を採択していただきたく、お願い申し上げます。</p> <p><b>【陳情事項】</b></p> <p>消費税の10%増税を中止することを国に求める意見書を採択していただきたい。</p>			